

# 西多摩医師会報

第237号 平成4年9月



『万華鏡』 稲垣壮太郎

## 目 次

	頁		頁
1. 『西多摩医師会今後のあり方』		9. 地区だより	
委員会について 松原貞一 …	2	秋川地区 納涼会	
2. 理事会報告 広報部 …	3	瀬戸岡俊一郎 …	18
3. 会員通知・医師会の動き 事務局 …	3	五日市地区 一泊旅行始末記	
4. 多摩医学会研究発表講演会		川崎健一郎 …	18
開催のお知らせ 広報部 …	4	青梅地区 鱒釣りバーベキュー大会	
5. 西医80周年準備委始動 広報部 …	5	青梅医師会福祉部 …	19
6. 文芸随筆その他諸事百般		羽村地区 納涼会	
『雑記』 山田正哉 …	6	込田茂夫 …	19
『靈魂とは何かについて (VI)』		福生地区 西村先生文部大臣賞受賞	
近藤 肇 …	10	道又正達 …	19
7. 生涯現役		10. 国保診療点数の概況 広報部 …	21
回想録 その(二十) 小泉新策 …	16	11. お知らせ・訃報 ………………	23
8. 新人紹介 新井敏彦 …	17	12. 表紙のことば 稲垣壮太郎 …	24
		13. あとがき 小机敏昭 …	24

## 「西多摩医師会今後のあり方」委員会について

会長 松原貞一

新定款のもと新執行部ができて、半年が過ぎました。従来とは異なる機構もあって多少の時間はかかりましたが、漸く人事も定着し、医師会の内外にその機能を発揮することが出来るようになりました。ひと段落した所で、九つの市町村を包括する西多摩医師会が、新定款の定める社団法人として何が出来何をなすべきか、更には地域に業をなす若い会員が、将来にかけて医師会に何を望み、いかにあって欲しいのか、改めて考え直してみたいと思っています。

先般の第16回参議院選挙の歳、日医連の推す宮崎候補は、自民の比例区名簿順位20位とあって、惜しくも落選、村瀬日医会長は「日医連に対する自民党の仕打ちには、憤りを禁じ得ない。選挙でうけたまわらず選挙で返すしかない。この怒りを自民党に思い知らせることになる」と強い口調で同党を批判すれば、翌日自民総務局長が、「順位の決定は公正であり、医師会の発言は不当。人の体や心を癒すべき医療に携わる人が、仇討ち刃傷沙汰のような発言をすることは残念」と応酬、泥試合の感を否めなかった。事の良し悪し理想論や建て前は別にして、日医が集めた宮崎候補の為の後援会名簿 250万人に対し、会員数半分以上の歯科医政連が集めた数は 800万人で、推選候補は順位4位で悠々当選している。

「寝たきり老人訪問診察料」とか訪問看護料等保険点数が改定されただけでさえ、在宅医療の流れは変わって行き、定額制の導入だけでも老人病院の在り方は変わって来る。たかだか保険点数の改定だけでさえ、我々が行う医療の土台が少しずつ変わって行くのである。医療法の大きな改正は戦後40年振りといわれ、猩紅熱という病名は法定伝染病の中に未だに残っている。悪しき制度や体制が出来ると、その下で数10年は苦勞し泣かなければならない。その制度や体制を作るのは、行政であり

政治である。良いといわれる職業が30年続いた試しはないという。医業も今やそんな曲り角に来ているのである。

医療というものは、患者と医師という極めて個人的な人間関係の上にあるものであり、我々自体大所高所の考えや集団相手の発想は元来苦が手の部分である。政治の基本である選挙に携ることなど、医師会の最も不得手な部分ではあるが、いつまでも手も汚さず汗も流さず、さめた眼で眺めていてよいものであろうか。地域医療をより良くする為にも、若い会員が地域で生き残り、医療を光のある職業とする為にも、政治は避けて通れない問題を含んでいる筈である。

目下市町村単位では地域福祉計画が、二次医療圏単位では地域保健医療計画が検討作成されつつある。時の流れ以上に、制度や体制は変わりつつあります。生涯教育を始めとした医学の勉強だけしていれば、医療や医業が良くなるという時代ではなくなって来ました。高度の医療機器の利用、専門細分化して来た部分のスペシャリストとの連携、そして統合の役目を果たすべき家庭医の在り方、考え始めると果てしなく問題は出て来ます。医療費改定保険点数が変る毎に、医療そのものがクルクル変り、一寸先は闇という言葉がありますが、医療の現場もまさにその通りで、数年先の見通しさえ立たないのが現状です。そして何より悪いのは、我々自身に、今後どうありたいのか、どうしたいのか、将来に対する展望やイメージのないことであります。流されるばかりでは、落ち行く先は見えています。

九月より、若い会員を中心とした、「西多摩医師会今後のあり方」委員会を発足させ、若い先生方に自らの将来の生き方も含めて検討をお願いすることに致しました。稔りある結論を期待しております。

80周年だより

## 西多摩医師会 80周年記念準備委員会始動

西医80周年を来年度に控え、第一回目の準備委員会が、7月30日夜、西医会館にて開催された。

### 【80周年準備委員会委員】

足立 卓三 明田川修生 石田 信彦 清水章三郎  
進藤 淳 高水 松夫 玉木 一弘 真鍋 勉

今回の協議内容要旨は下記の通り。

◎80周年記念式典及びパーティを下記にて開催予定とする。

日 時：平成5年10月16日（土）午後

場 所：立川グランドホテル

◎式典に際し、記念講演をしかるべく人選の上、企画実施する。

◎式次第、来賓招致については、これまでの式典の経験を踏まえ継続協議する。

◎式典等実行委員を各地区と協議の上、本年10月をめどに選任する。

◎80周年記念誌を、広報部を中心に刊行予定とする。

(広報部)

文芸随筆その他諸事百般

雑記

終戦から新制医師会誕生への過程（其の三）

山田正哉

終戦から約半ヶ年間の医師会活動に関しては前回迄少しづつ記載してきたが、世情は敗戦からの虚脱状態の続く中で8月24日八高線小宮及び拝島間で死者105名、負傷67名を出した列車の正面衝突があった。また外地からの在外同胞や軍人の引き揚げが開始され、国内の食糧事情は悪化の一路を辿り、屋根まで上る程の混雑を極めた近隣の農村に食糧を求める買出し部隊の光景を見る有様であり、他方では物価は高騰し金さえあれば街には横流しの旧軍需物資や米軍残飯で作った品物、或るは密造酒、米、味噌、醤油等の日常雑貨までが闇市で売られていた。然し一般の国民は希望の糸口すら見出すのが困難で、其の日其の日の暮しにも暗い影がやどった頃並木路子の歌う「リンゴの唄」が、あの軽快な歌詞とメロディーで日本中に流れ人々の心を踊らせてくれた。

かくして昭和20年も終り昭和21年正月には天皇の人間宣言があり、極東国際軍事法廷設置の発表があり、2月中旬には金融緊急措置令が発令された。この金融緊急措置令によって、国民が現在持っているあらゆる金融機関の預貯金は、すべて封鎖されて自由に引き出すことが出来なくなって、流通していた10円、20円、100円及び200円、1,000円の各日銀券（旧券）は、3月3日以降は使用禁止となり、旧券と新券の交換が2月25日から3月7日までの間に実施され、新券は10円と100円の2種類で、個人の交換金額に制限があって、個人の場合は1人当り100円と制限され所謂500円生活が始まった。

これに関して埼玉銀行青梅支店から西多摩医師会長宛に次の如き文書が配布されている。

埼青預第1号

昭和22年4月8日

埼玉銀行青梅支店

西多摩郡医師会長殿

拝啓 毎度御引立を蒙り厚く御禮申上ます。陳者左記の通り金融緊急措置令の一部が改正になりましたから、貴会員の方々に周知方御取計ひ下されます様御多忙中乍御手数御依頼申上ます。

記

一、医師、歯科医師（病院又は診療所において医師、歯科医師が診療する場合を含む。以下医師等という）はその医業遂行のための事業費の一部につき二以下により第一封鎖預金等から自由支払を受けることができるものとする。

二、医師等は医療費として封鎖支払の方法により当該医師等に対して支払われた金額の内その三割以内の金額を自由預金等に振り替えることができる。右の封鎖支払は当該医師等を受取人とし且「医療費」の記載のある封鎖小切手を用いたものでなければならない。

三、この通知による取扱は、この通知以後に医師等がその第一封鎖預金等に医療費として預入したのから適用され、第一封鎖預金等から自由預金等に振り替えられる金額については、昭和21年2月大蔵省告示第25号に基づく大蔵大臣の包括的許可があったものとして取扱う。以上

戦争中は医療機関の疎開があり、空襲により消失した医療機関の復興は思うように捗らないばかりか、医師数も完全に把握されてい

なかったので会員数及び医業状況調査があった。第1回の通牒は見当らないが次の様な通牒がある。

東医発第97号

昭和21年7月24日

東京都医師会長 中山寿彦

支部長殿

第2回会員数並に医業概況調査に関する件

本年1月末現在を以て御報告相煩候会員数並に医業概況調査に関しては過般日本医師会に於て之が集計を終り医療機関の分布状況に付好資料を得たるに鑑み今般更に6月末現在を以て調査報告方申越有之候條同封用紙に所要事項御記入の上折返し本会宛御送附相成度此段御依頼申上候

また東医発第69号、昭和22年7月17日付で、第3回調査が実施されているが、第1回(会報23号に記載)よりの本西多摩医師会の概況を別掲の如く報告して置きます。

現在化学療法は日常茶飯事であるが、終戦直後では抗生物質による化学療法など夢の夢で、戦争中英国のチャーチル首相の肺炎を治療したと報ぜられたペニシリンなど入手することは出来ず、日本でも理科学研究所で研究されていたが実用にはほど遠く使用するとすれば米軍からの横流しの闇物資として高額な金銭を支払って使用するしか方法がなく漸く昭和23年頃にペニシリン使用申請をして配給されたペニシリンを使用することが出来て、在来の治療法と比較してその効果や臨床像の改善の速さに驚異の感を抱いたことを今私は想い出します。

それ故に学術講演会も最近の化学療法に就いて実施されている。

東医発第10号

昭和21年4月8日

東京都医師会長 中山寿彦

支部長殿

学術講演会開催の件

本会主催定期学術講演会別紙の案内の通り開催可致候條会員多数来聴方御取計相成度御依頼申上候

追而開催案内は貴支部隣組(班)数御送付申上候に付会員に御周知方格段の御配慮相煩度

学術講演案内

東京都医師会

講師 伝染病研究所員 医学博士

東京帝国大学教授 細谷省吾氏

ペニシリンについて

日時 4月17日(水曜) 午後2時~4時

会場 神田区駿河台2の5 日本医師会講堂

敗戦後は衛生状態は非常に悪く、寝るにも泊る所もなく、駅の待合室、地下道、路上に寝る人が非常に多く入浴など思うままにならない世情であった。街には浮浪児が氾濫し駐留米軍兵士に物をねだる姿や流行歌、映画にもなった街娼の姿が見られた。その浮浪児には「風」、流行語にもなった「ホワイトチーター」がいっぱいいたり、駐留軍は発疹チフスの蔓延を恐れ街頭で「DDTの撒布」が実施され体中が真白になった姿がよく見られた。発疹チフスの外には、引揚げ者の軍人からデング熱患者、マラリア患者、また外地引揚げ者の中にも仮痘患者等が診られ一般医師は診断や治療に苦勞した時代であった。

その頃に出た通牒を記載してみよう。

東医発第26号

昭和21年4月20日

東京都医師会長 中山寿彦

支部長殿

発疹「チフス」注意患者届出励行に関する件

標記の件に関しては去る3月30日附東医発第169号を以て会員に周知方御依頼致置候処

其の後発疹「チフス」患者の発生は依然として減少の非を示さず、右は注意患者届出の不励行も一因をなすとの見解も有之当局に於ては該規則違反者に対し假借なく摘発処分しつつあるの現状に有之候條重ねて会員に本趣旨徹底方御依頼申上候

追而本規則による届出は高熱並に頭痛ある患者を診察したる時より2時間以内の謂にして発疹「チフス」と診定したる時の意に非ざるを以て誤解なき様併せて御周知相成度

前述した如く発疹チフスは聯合軍司令部に於ては重大関心事であった為めに、届出を励行せぬ医師には嚴重な処分がなされた模様が決の通達で想像出来る。

西医発第28号

昭和21年5月10日

東京都医師会西多摩郡支部長

発疹チフス届出励行に関する件

標記の件に関して先般御通知済なるも今般上司より左記の如く注意有之候。

王子区医師小西善蔵及小石川区河合タミ両氏は屢々届出を怠りたるを以て嚴重に処罰し一定期間の医業停止を行うと共に直ちに新聞発表を行うべし

第32軍政部指令5月1日附 23項の中一例

発疹チフスの発生は猖獗を極め、私も大学の医局で治療にてんてこ舞いをしたことを想い出すが医師会でも次ぎから次ぎへと通牒が出ていますので、しばし記載してみよう。

東医発第 217号

昭和21年12月17日

東京都医師会長 中山寿彦

支部長殿

発疹「チフス」注意患者の届出に関する件

標記の件に関しては去る3月30日附東医発第 169号を以て会員に周知方御依頼申置候処

夏季に入り一時終熄せる「発疹チフス」は昨今に至り再び蔓延の兆ある状況に鑑み此際重ねて会員に対し「発疹チフス」注意患者の届出励行御注意相成度此段御依頼申上候。

西厚第37号

昭和22年1月15日

西多摩地方事務所長

医師会西多摩郡支部長殿

パンフレット配布方依頼の件

標記の件に就いて「発疹チフス」の臨床と其の豫防」75部送付致しますから貴医師会員たる医師各位に配布被下度右依頼致します。

東医発第 266号

昭和22年2月28日

東京都医師会長 中山寿彦

支部長殿

定期乗車券所持者に対する発疹「チフス」豫防注射協力の件

今般聯合軍司令部の指示に基き東京都衛生局防疫課に於ては定期乗車券所持者に対し発疹「チフス」予防注射を施行致すことと相成、之に協力方都衛生局長より申越有之候條左記要領に依り協力せられたき旨会員に御周知相成度此段御依頼申上候

記

一、3月1日より3月10日迄を第一段の実施期間とし会社、事務所、官庁、事業所等にして通勤者50名以上を有するものは自主的に注射を施行すべきに付右会社、事務所等より招請を受けたる場合は極力之が求めに應ぜられたきこと（注射液は会社、事務所等に於て当局より有償交付を受くる筈）。

二、右に洩れたる物に対し第二段区役所に於て又第3段液に於て夫々実施の計画なるも第二段以後は当局に於て実施すべきに付本会に於ては関係なし。

以下 次号に

【別掲資料】

西多摩郡支部 会員数並に医業概況調査（第一回）（昭和21年1月31日現在）

会員総数  59名	内	在来の会員数					内 訳	開業せる会員数	31人	内 復 員 者	3人	
		31人						奉職せる会員数				
		戦災以疎開による転入者						開業せる会員数	28人		1人	
	訳	28人					内 訳	奉職せる会員数				
								其の他の会員数				
開業せる 会員の 各科別	内科	外科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚泌尿科	精神科	整形外科	レントゲン科	一般	その他
	38	7	5	4	1	4						
病院数	内 訳	官立		都市町村立		団体立（法人）		私立	医療団営		その他	
9				2		2		5				
病床総数	内 訳			67		33		42				
142		内 結核（ ） 伝染（ ）		(20) (20)		( ) (3)		( ) ( )				

西多摩郡支部 会員数並に医業概況調査（第二回）（昭和21年6月30日現在）

会員総数  71名	内	前報告の会員総数					内 訳	開業者	59人	内 復 員 者	4人	
		59人						奉職者				
		其の後転入せる会員数						開業者	7人			
	訳	12人					内 訳	奉職者	5人	1人		
								其の他の				
開業せる 会員の 各科別	内科	外科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚泌尿科	精神科	整形外科	レントゲン科	一般	その他
	49	9	4	4	2	3						
病院数	内 訳	官立		都市町村立		団体立（法人）		私立	医療団営		その他	
9				2		2		5				
病床総数	内 訳			67		33		42				
142		内 結核（ ） 伝染（ ）		(20) (20)		( ) (3)		( ) ( )				

会員総数  78名	内	前回報告の会員総数		内	開業者	64人					内	復員者	1人
		71人			奉職者	7人							
	訳	其の後転入せる会員数		内	開業者	7人					訳	7人	
		7人			奉職者								
開業せる 会員の 各科別	内科	外科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	皮膚泌尿科	精神科	整形外科	レントゲン科	一般	その他	
	53	12	5	4	1	3							
病院数	内訳	官立		都市町村立		団体立(法人)		私立	医療団営		その他		
9				2		2		5					
病床総数	内訳	67		33		42							
142		内結核( )	(20)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
		伝染( )	(20)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

## 靈魂とは何かについて (VI)

— あなたは、どう死を迎えるか —

近藤 肇

### 第六章 脳と心身問題

#### 6-1 臨死体験の科学

臨死体験についての最初の科学的研究を行ったのは、アメリカのコネチカット大学心理学教授のケネス・リングである。病院からの紹介、新聞広告などによって体験者に面接調査をして、重症群、事故群、自殺未遂群に分け、詳細にデータを分析した。

その結果、ムーデーの著書『かいま見た死後の世界』にある事実が間違いなく大部分において一致していることを確認し、いくらかの意見を補足した。

氏は臨死体験に五つの段階があるという。第一が安らぎの境地、第二が自分が肉体から離脱する。第三の段階がこの世から彼岸の世

界へ行く暗闇の中に入る境地で、トンネルと表現する人が多い。そして、一部の人が第四の段階として光を見る、第五の段階として光の中へ入って行く。臨死体験者のいう感想の特徴として、「自我を越えた体験であり、神秘的、霊的な意識を生じた、死が怖くなくなった」などの多いことを重視している。

第二の科学的な研究の書「あの世からの帰還」(Recollections of Death) がエモリー大学医学部心臓病学助教授のマイクル・セボムによって出版された。氏は、ムーデーの所見に疑問を抱きながら症例を集めて研究した結果、ムーデーのいう臨死体験の存在について確信を抱いた。

氏によると患者が意識不明に陥り臨死状態になる時、その瞬間の身体的状態とは別のと



ところで、一連の出来事が急速に展開する場合があるといえるという。蘇生した後の患者は、この臨死体験を自分の生涯最大の出来事として語るが、このような『NDE』（臨死体験）は主治医にとっても患者にとっても現実なのであるという。このことは、医療従事者は人間が死んで行く時、それは、人間の肉体的な死の過程であると同時に精神的霊的過程であり、まじめに医学的関心の対象としなければならないと述べているが、医療従事者にとって考えなければならない問題である。

## 6-2 脳機能と脳内小型タンパク分子

臨死体験『NDE』を論じた学者の中の一入としてハーバード大学医学部講師のダニエル・B・カーは次のように述べている。

“『NDE』は大脳の辺縁系の機能異常であり、辺縁系の神経の活動が過多になった場合に『NDE』の特徴である自我観の喪失、思わぬ記憶の想起、多幸的感情、幻覚が見られるという。また脳内小型タンパク分子たるペプチドやアミノ酸、アミン類が神経ホルモンの作用をなしているのであるが、その局所的な作用が関係しているのではないかとの意見も有力である。辺縁系はペプチドホルモンなどの受容体に富んでおり、これらが活動的になると辺縁系の神経細胞ネットワーク機構たる神経繊維「ニューロン」の異常放電インパルスが生じ、脳内に存在するモルヒネ様物質たるエンドルフィンが増加してひとつの役割を演ずると考えられている。

動物実験において、死後間もない脳組織からのペプチドホルモンを測定してみたら、減少どころか増加していたという報告がある”と。

エンドルフィンの作用はモルヒネと同じであり、死の苦しみに際し、エンドルフィンが分泌されて内因的に幻覚作用を生じて苦痛を除くのではなかろうかと私は思っていた。

脳内の小型タンパク物質やアミン類について分布や生成が、いろいろな検査器機の発達によって知る事が出来るようになったことは脳の生理・生物学の進歩を急速に進歩させた。

1955年、「組織化学的蛍光法」という検査

法が発見されドーパミンという神経ホルモンを蛍光物質に変え観測できるようになった。

検査法の進歩についていえば、X線CTが1973年に実用化された。脳出血の部位・程度、脳腫瘍、脳梗塞などの診断に大いに役立っている。

キセノンという放射性物質を注射しておく心と心の動きが脳の血流量の変化として表れる（ローランドの発見）ことや、『PET』なる新しい検査法で脳内の小型分子の状態を知り得ることについては述べたが（1-4）、『PET』は基本的にはX線CTみたいな検査であり、『PET』はX線のような影をとる間接的な方法でなく、ポジトロン（陽電子）を発生する同位元素の標識原子を結合させて脳内の小型分子の活動を直接測定することが出来る方法で、ドーパミンという神経ホルモンなどの分布を測定できる。ドーパミンの神経ホルモンとしての分布状況がてんかんや精神分裂病との関係で新しい事実を生み出している。

更にその後、新しい検査法として、「NMR」（核磁気共鳴）を利用した『NMR-CT』やγ線を放出する標識原子を使った『SPECT』（シングル・フォトン・エミッション・CT）が開発されている。これらの新しい検査法の次から次への開発によって、脳内小型分子と心との関係が少しずつ解明される糸口が得られつつある。

## 6-3 幻覚と臨死体験

臨死体験は単なる幻覚であるという説がある。しかし、根本的に違うのは臨死体験が幻覚であるとしても、以後の人生観が一変することはこれまでに述べてきた通りである。

幻覚を起こす物質に「LSD」がある。「LSD」は脳内各部位に多く存在する小型タンパク物質の「セロトニン」に似ている。セロトニンの作用は、情報の中心たる大脳の辺縁系の海馬や扁桃核、前頭葉に興奮を伝達するのに必要な神経伝達ホルモンである。「LSD」はそのセロトニンの受容体とくっついてしまう。脳内小型タンパクのホルモンは、それぞれに受容体があり、うまく調節されフィードバックが行われているから、くっ

つき放しということは正常状態ではない。「LSD」がくつき放しになると、細胞が興奮し続けてしまう。その結果幻覚が生ずるのである。

かつて、レセルピンという高血圧治療剤が愛用されていた。1954年（昭和29年）にインド蛇木から分離精製されたもので、昭和40年ころまでは多くの医師が使用したものである。ところが、高血圧の患者に使用しているうちに患者の中にうつ病になるのが多いという事が経験され、時には患者が自殺した場合も生じた。その原因については、レセルピンが脳内神経ホルモンのドーパミン関連分子の働きを抑制してしまうということが分かり、セロトニンの欠乏によるのではないかとされた。

幻覚を起こす物質に麻酔薬のケタミンというのがある。麻酔中に、幸福感、美しい世界、トンネル現象、身体の離脱など臨死体験に似た状態を体験する。ところが、暗い恐ろしい状態を体験する場合もある。私は手術に際して経験した事ではあるが、手術前にディアゼバムのような精神安定剤を投与しておく、色彩のある夢を見て気分が良かったという。暗い恐ろしい状態を体験する場合は手術前にディアゼバムのような精神安定剤を投与しなかった場合であった。

ヒロポンなどの覚醒剤も幻覚を起こす。ヒロポン類を含め現在も覚醒剤の密売、使用が絶えないのは、麻薬類が切れると禁断現象が生ずるからである。

臨死体験の幻覚と薬剤の幻覚との間に様相上は余り変わらない。

カリフォルニアの神経科医師ロナルド・シーゲルが発表しているところであるが、患者の表現には、トンネル現象にしても、人物に出会った光景にしても、過去の回想にして、風景にしても言葉の相違はあっても状況描写は同じである。

臨死体験も脳内の変化であるし、薬剤の幻覚も脳内の変化であるから、患者の表現による様相は同じかも知れない。しかし、だからといって臨死体験は幻覚に過ぎないとは言えないものがある。

#### 6-4 脳神経外科医の画期的な研究

ペンフィールド (Wilder Penfield 1891~1976年) は、アメリカのワシントン州生まれ、プリンストン大学、オックスフォード大学、ジョンズホプキンス大学に学び、てんかんの患者の脳外科的手術を開発した第一人者であり、カナダのマギル大学教授、自分の創設したモントリオール神経研究所の所長をしていた間に、てんかん患者の多数の手術例から新しい事実を発見し、脳の機能の局在を明らかにするなど画期的な研究をなした。

脳は痛みを感じないので、脳の手術は局所麻酔だけで行われ、患者と会話を交わしながら手術中に脳に電氣的刺激を与えて患者の反応を知ることができた。

てんかんの原因となる部位を知ることができたり、刺激で発作が再現されたり、患者の心に生ずる変化が患者の口から表現されたり、脳のどの部位にどのような働きがあるか、即ち感覚領や運動領や言語領の分布が地図のようにはわかった。

脳の側頭葉の「記憶領」の部位に相当しペンフィールドが『解釈領』と名づける部位を電氣的に刺激すると、患者に過去の経験が思い浮かんでその状況が患者の口から語られる。ここを刺激すると、そこから離れている灰白質を活動化させ、そこに過去が記録されているのを意識の中に甦らせる。そして、患者はその時にそこに自分がいる状態になってしまう。動作を思うばかりでなく、声も聴こえ、音楽も聴こえる。そして、その場に同じ状況で話をし歌もハミングで歌う。このように過去の経験が「経験反応」として起こり、過去へと「フラッシュバック」するのである。

この「経験反応」として起こる過去へと「フラッシュバック現象」は、臨死体験に現れる「パノラマ体験」「人生が走馬灯のように思い出される」と共通の現象のようである。

ペンフィールドは、手術台で患者の右の大腦半球を露出させ、何か所かを電氣的刺激することにより、左の親指の異常感覚、舌の左の側面のうずくような感じ、舌の運動が起こったが、これらは「感覚、運動」に関係していた。ところが、別に側頭葉での刺激で生じた

ものは「精神的」なものであって、過去の認識の流れの再現であった。

これは、患者との間の会話で刺激に対しての反応を知ることができたのであった。

(予告なしの刺激に対して)

「何年も前のような感じがしますが、母親がどこかで子供を呼んでいるのが聞こえたように思います」

「どこか川の方で声がするのが聞こえました。男の人と女の人のようでした」

(電極の針をシルヴィウス溝の奥即ち側頭葉の奥へ挿入スイッチを入れた時)

「おお、いつも発作の時と同じ場面です。誰かが私を呼んでいました。男の人でした。手に鉛筆を持って机にもたれていました」

(もう一度刺激しますよと言って何もなかった。そうしたら)

「何も感じませんでした」

と患者は答えた。

以上の記録はペンフィールドの最初の経験であり、その後の研究へと進んだ。

てんかんの症状には、灰白質の異常放電によって上部脳幹に選択的な機能消失を生ずることによる、短時間の意識の異常を伴う「小発作」というのがある。その時には人間を心のない「自動人間」にしてしまう。意識のない状態のまま自動的に自分の日常的な行動をしてしまう。これが「自動症」という症状である。

#### 6-5 意識のない行動の意味するもの

てんかん患者に見られる「自動症」の発作は、意識のない人間の脳に複雑な仕事を自動的にやってのけさせてしまう。そういう行為・行動能力が可能なコンピューター装置が脳に備えつけられているのである。そして意識のない状態の自動症が日常的な行動をやってのけるということは、コンピューターが覚え込んでいるということである。型にはまった習慣的行動ができる。こういう行動をしても、意識がない状態であったから、全く記憶には残らない無意識行動である。

ピアノを学ぶ学生で、側頭葉のてんかん性放電で自動症の起こる患者の場合の話である。

練習中に母親の言う「上の空」状態になるが、しばらくうまく弾き続ける。また、職場から家へ帰る途中発作が起こった場合、無事に家へ帰ったものの、途中のある地点からある地点までのことが全然記憶にないということに気づき、そのことによって自分が発作におそわれたことを知る。

もしも、自動車を運転している患者が発作におそわれたとすると、その患者はそのまま車を運転し続け、信号を無視して走り、事故を起こすかも知れず、事故を起こさなかったとすれば、後になって運転中の記憶に一部欠けたもののあることに気づき、自分が発作を起こしていたことを知る。

ペンフィールドは、人間の脳には心に直結した仕組みと、心と関係なく自動的に制御する運動機能の仕組みがあって、この仕組みの中心は上部脳幹部にあり、そこで心との関係が保たれながら人間の行動が行われているとした。この上部脳幹部には、二つの仕組みがあるとするとする。それは、コンピューターの脳システムの仕組みと、最高位の指令を発する「心に直結した仕組み」とである。ペンフィールドは、このように、人間の脳には、心に直結した仕組みと、行動を自動的に制御する仕組みとが互いに影響し合いながら、独立して機能しているのではないかと考えた。

てんかんの場合、前部前頭葉または側頭葉の放電が自動症を起こすが、大脳皮質の感覚領や運動領に起こった放電では全身性けいれんを起こす事実から考えて、心に直結した仕組みは前部前頭葉または側頭葉とは機能的に関係があるが、感覚領や運動領とは直接的な機能的関係はないのではなからうかとした。

このことは、心と無関係に、脳の運動機能があり、心が脳と別に存在しているということをおぼせるのではなからうか。

#### 6-6 左右の脳の機能と心身問題

ペンフィールドは自分の研究から、上記のような二元論的に、心の実在を主張したが、反対に、心即ち意識は脳で作られる、脳も心も一つのものであるとした一元論を主張した研究者の一人にスペリー (R. Sperry) がい

る。

カリフォルニア工科大学の心理学者であり神経生理学者でもあるロジャー・スペリーは1970年に、左脳と右脳とで明らかな差があることを発見した研究で1981年にノーベル賞を受賞した。この研究はてんかん患者で脳の左右の半球をつなぐ脳梁（脳梁は2億本もの神経繊維の束である）を切断した状態での実験であった。左脳にはもともと言語中枢があるのであるが、左脳では理性的なものが構成され、右脳では感情的なものが構成されることを明らかにし、このように理性と感情で人間の心が生み出されるとした。

人は物を見る時、左右の目で見る。

視野の左側からの刺激は、両眼とも右側の脳に投影される。反対に、視野の右側からの刺激は、両眼とも左側の脳に投影される。

実験で、被験者に視野の左側に [Key] 右側に [Ring] と書いた文字を0.1秒間だけ見せた。

その結果、被験者は右側に書いた [Ring] は言葉で応答ができたが、視野の左側の [Key] に対しては [Key] という意味は分かるが言葉にならないのである。だが意味は分かるので、指で [Key] は指示はできる。

脳梁切断者のこの実験では、左脳に投影されたものは言葉になったが右脳で見たものは言葉にならないのである。左脳は言語活動に関係し理性的な役も果たし、右脳は感覚的、情感的で言語機能がないことを示している。

なお、右利きの人の90%以上は言語機能が左脳にあり、左利きの人では50~70%だということである。

なお、左脳を優位脳とし右脳を劣位脳とされていたこともあるが、それは言語という点を重要視したためであり、実際には、夫々に専門化した機能があるのであり優劣はないとすべきであろう。

理性と感情が脳で作られるということは、心は脳で作られるという有力な根拠になる。

ここに因果論の問題が生まれる。

精神的現象たる心を脳に還元できるかが問題なのである。

心と身体の哲学には、大別して次の四つに

区分した問題がある。

一つは「相互作用説」(interactionism)で、精神と物質、心と物との間には相互作用があるというのである。

二は、「随伴現象説」(epiphenomenalism)であって、一方のみが実在し他はその随伴現象に過ぎないというのである。身的事象はそれ自身独立した実在であって、そのものどうしの間では因果関係が成り立つが、心的事象は特定の物的事象が生み出す一種の効果に過ぎず、それ自体は独立した存在ではないとする。

三は、「平行説」(parallelism)で単に平行関係が見られるに過ぎないとする。心身の交差因果を認めない。

四は、最近になっていわれている「同一説」(identity theory)である。これは精神現象と物質現象は実は同一のもので、物の両面であるというのであり、現在の心脳同一説(mind-brain identity theory)はこれである。心的事象は脳の機能の過程であるとするのである。

心身問題について、また心脳同一説について、どういう立場をとるかは、その人の信仰や環境などに影響されるところが少くないが、以上のどの立場でものを考えるかによって異なってくる。

スペリーは、意識はすべて神経活動の総和であり、意識は左右の脳にあるとして一元論の立場で同一説をとった。

## 6-7 心の実在についてのペンフィールドの主張

ペンフィールドは85才で世を去ったが、晩年、彼は考えを変えて83才の時に膨大な研究成果を通俗的にまとめて、心は脳とは別の実在とする二元論的の立場に立って「THE MYSTERY OF THE MIND」邦訳「脳と心の正体」を出版した。

ペンフィールドは、如何なる解釈をとったか。

第一は、心は何をするかの問題

心は注意を集中させることができる。善悪の判断をなすことができる。意志を決定する

ことができる。脳に指令を発して行動させることができる。感情の表現ができる。過去を想起することができる。抑えがたき情動に駆られる。

### 第二は、患者の意識行動

てんかん患者についての脳への電氣的刺激で、患者の行為が患者の意志に関係なく現れることである。患者は全く自分で思わないのに声を出したり過去を思ったりする。自分の意志に関係なく、他動的に行為がなされてしまう。こういうことは、自分の心と行為が無関係であることを示している。

### 第三は、電極刺激の際の対応

大脳皮質への電氣的刺激が患者にいろいろな生の感覚をもたらしたり、手足や頭や眼の運動を引き起こしたり、声を発しさせたり、過去の経験の記憶が鮮やかに再現されたりするけれど、患者は心が混乱することなく客観的に判断を示す。

大脳皮質には、電氣刺激で患者に何かを感じさせたり、決心させたりする部位はないのである。

第四は、意識の記録の再生は、電氣的刺激によって誘発され得る。しかし、心の働きと思われるものは、電氣的刺激やてんかん性放電によっては一つも誘発されない。もし、脳に心の働きを担う仕組みがあるならば、てんかん性放電や電氣的刺激で、その存在を思わせる何かがあってもよい。

人間の脳と心とを、ただ一つの基本要素から成り立つ一元論的な立場で考えれば、脳の神経作用が心の働きをすべて説明しなくてはならない。神経繊維を伝わる電氣的エネルギーで説明できなければならない。

では、どこにもう一つ基本要素があるのだろうか。もう一つの基本要素が何であれ、心が「最高位の脳機構を通じて脳の機能と関係している」ことは間違いはないとしても良からう。

何かあるとすると、もう一つの基本要素として考えられるものに『エネルギー』がある。

神経系統については神経伝達物質の存在があり、化学作用でエネルギーを生ずるからそれで説明はつくが、心はどこからエネルギー

が与えられるかが問題となる。神経系統の神経伝達の化学作用で生じたエネルギーが、心の働きにもなるということが成り立つだろうか。

脳は一つのコンピューター装置である。コンピューターは独自の外部の何者かによってプログラムを与えられ、機械が操作されなければならない。脳はコンピューターであり、心はプログラマーである。

脳は記憶を持つ機械である。活動時に学んだことをすべて記憶する。経験を積み重ねる。心は独自の記憶は持たないが、脳に対しては、プログラマーであり優位にある存在である。心は媒体の性質を有する。心は『实在』である。

睡眠と目覚めは毎日繰り返されているが、心へのエネルギーは目覚めと同時にスイッチ・オンし、睡眠と共にスイッチ・オフとなるというのである。

以上がペンフィールドの心の実在についての主張である。

## 6-8 心脳同一の問題

ペンフィールドが晩年に、「心」と「脳」とを同一とせず「心の実在」を信ずるに至った彼の研究は、逆にそれは他の科学者、哲学者に、心は脳の働きに帰するとか、脳の過程であるに過ぎないとかの主張の拠りどころともなった。

心脳同一説は、心は脳の機能の産物に過ぎないとし、脳は心を創出するとする唯物論的な一元論であり、これを支持する哲学者は英米系において多い。

脳に表われる物理的、化学的現象が、意識や心を反映する『脳過程』として捉えられ、心は人間の脳によって創り出されるという。その代表的哲学者にファイグル (H. Feigl)、スマート (J. J. G. Smart) らがいる。

分子生物学者の間には、脳の研究の今後の進歩によっては、心が何を考えているかさえ脳に現れる変化で分かってしまう筈であるとする主張がなされている。

さて、心が脳で作られるとすれば、一体脳の中でどのように構成されるのか。

心は知・情・意の三要素からなる。

脳の受ける情報は、多数の中枢がインパルス信号を受け、最も進化した分野たる大脳前頭葉の前部の「前頭前野」あるいは「前頭連合野」で統合され、統合された脳の働きが意識を作る。大脳では多くの中枢が複雑に機能しフィードバックを重ねたりして感覚、感情、情緒などをコントロールしている。

新皮質の前頭葉と側頭葉は「知」に関係する。

大脳辺縁系と大脳基底核が「情」の形成に関係する。

脳幹の視床下部が「意」に関係している。

現在は知・情・意について以上のように考えられている。

心身問題、心脳同一説が論議されている中で、ペンフィールドはこの難問に挑み、自分の生き方や個人的信条は一つの信念を持って自分で選ばなければならないとして、自分は「科学者」として、誰はばかることなく靈魂の存在を信じるのだとの結論に達した。

「心が人間の脳によって創出される」のか。

「人間の精神活動たる心を分子レベルで観察することが可能」なのか。

哲学者や科学者の取り組む解決困難な永遠の課題である。

臨死体験もその根底は、「心の実在」を認めるか否定するか論議であり、靈魂の存在を認めるか否定するか論議でもある。

## 生涯現役

## 回想録 その（二十）

小泉新策

今月は銷夏号でもありますので医師会外伝とも云うべき形で書かせて貰います。廿年代は食って行くことに追われ、廿三年には新円切り替えの納税と所持制限に追われたが又後半は創造への発芽期でもありました。随って食えるものと云えば何でも有り難かったです。私は幼少より江川代官の組頭という家筋に育ったので銃の操作には熟達させられて居た。学生時代にも狩猟を休暇には欠かさずにやったが、野戦にあったときも、特に許可を申出で、麦畑の上を舞い交す郭公や雉子鳩を、狹搾弾で打ち落したので可成り有名になったが、敗戦後鎌倉の某寺の庫裡に疎開して居た恩師兒玉周一先生を門下生多勢で慰問した。食べ物各自が持ちよりのことで私は山鳥二羽、雉子鳩十五羽、野兎一匹を持参した、アルコール類も誰彼と可成り持ち寄せて実に楽しい一日を過した。又或日五日市に疎開して居た、片倉耕介氏が病気づいているので誰か大家の診断を受けたいから頼んでくれとの

再三使いが見えたので家族と相談した処が二番息子が飛行将校で東京病院で治療を受けた火傷痕を示した「加藤教授」は来てはくれないかな、入院をきらうのでとのことで早速に加藤先生に連絡をつけた。当時毎週二回づつ慈恵病院へ詰めて居たので、加藤先生にお願いに上った。先生は本郷西片町がお住居で焼けなかった。電車で日曜日に来てくれた。私の手許で出来る検査はしてあったが、標本を窺かれて有鉤の十二指腸虫の卵のようだな。そして材料精査すると持ち帰られ、後日萬有製薬から駆虫剤を届けてくれ片倉耕介氏は助かったが、その折加藤先生が私の詫び住居へ立ち寄られて、壁に吊り下げてあった幾つかの得物を指して、往診料はいらぬからこれをくれと指差された。山鳥の雄の尾の長いのを二羽、野兎もあげましよう云ったら、これで沢山沢山とて片倉氏の二男に車で送って貰った。後日先生に幾度かお会いしたが、君は良い処に住んで居て羨ましいなあと永嘆さ

れた。昔若い頃私も猟を少しやったが楽しいし健康にいいよ、と。今でも当時の先生のお顔がふと頭のどこかに浮んで来ます。こんな話を会館が出来た初冬山田会長達としたら、おい小泉、医師会でもそんな思いをさせろよとお声がかかりとなったが、その機会が来た。槍原の大澤部落からである「上の平」に雉子が集って秋作は全滅だった捕ってくれとの言伝えである。土曜日の午後スクーターで駆けつけ現場へ行って見た。話通り居た居た幾群れもである雌雉子のみで四羽捕れた。習性上雄雉子は雌と同居しない。帰路「青木平」の森近くで野兎を捕り、帰宅して山田先生に連絡つけたら、今晚集合しようというので早速荒料理して会館へ持参し留守居のおばさんに料理して貰って一夜、和気藹々の会合をした記憶がある。その会合に参加したのは坂本保先生位、或は田中浩哉先生、他は他界された。健在なのは近藤肇先生はどうであったかな。或は近藤さんは肇先生のお父さんであったかも、知れません。川内、池田、江東、高水、栗原(憲)等々役員の面々でした。自動車で落雷に感電した恐怖を書きましょう。それより前にバイクサイクリング発生の話を致します。私は終戦より前に英国製のコースター自転車に配給されて居た。26番配給番号で終戦後配給されたのも「スクーター」も26番。その次の自動車も26番の「ホルクスワーゲン」18万キロ乗った中古車でした。鋼鉄製の窓の小さいので、この鋼鉄車で雷鳴の午後請求書を提出に出かけた。大久野小学校附近

で大雷鳴で車中が焦げ臭かったが何ともなく漸くすると雷鳴が静まったので引き返さず青梅へ車を走らせた。処が二ツ塚を過ぎた処で耳をもつん裂く様な雷鳴、今度は後のシートから煙が出て来た。車を止めシートを引返すと燻って火が付いて居た。突作にバッテリー水(後の窓下に置いてあった)を振りかけて火を消して大事に至らず済んだ。鋼鉄製小窓の車にも避雷用の配慮が欠けて居た。漸くしてこの車は新型の白いワーゲンと交換していった。何処かで保存されているでしょう。終戦後間もない頃中島自動車勤務の工員が五日市小和田の来住野某を中心によく私の診療を受けに夜やって来た。軍の物資疎開でザルプロを手に入れて居て注射して貰えるので、私の処へ集って来た。庭先の縁臺で治療してやったもので、その患者の中に陸戦隊用のオートバイ陸王の製作者の青木某が居た。その友人で近くに住んで居る本田某が居た。私の学友三木茂男(三木武夫の甥)が学生時代電気マッサージ師の家に下宿し手伝いもし敗品の治療用電気マッサージ機を貰って持って居りこれを又貰って疎開荷物に残って居たのを上記の連中に見せた。色々話してたが、これをくれぬかと云ったのが本田某、数ヶ月後に集った時、自転車にあのマッサージ用エンジンが取り付けられて居た。走るのは物凄く速いが坂が昇れなかった。また工夫して来るよと云って持ち去った。天下の本田もこんな処から出発の一面のあることを銷夏漫談として載せさせて貰います。

## 新人紹介

### 新井クリニック

新井敏彦 39才

#### 1. 経歴

1953年1月23日 瑞穂町長岡に生まれる  
 1974年杏林大学医学部入学  
 1980年 同 卒業  
 1980年4月東京女子医科大学小児科入局  
 1982年4月 同 助手



1984年10月東京女子医科大学  
 母子センター助手  
 1990年3月 同 退職  
 母子センター非常勤講師  
 1990年4月東京逡信病院内科入局  
 1992年6月 同 退職  
 8月瑞穂町長岡に  
 新井クリニック開設

ウンテンバイク)、カントリーミュージック鑑賞

3. 家族

妻 新井ゆみ 東京女子医科大学小児科  
 助手 兼国立の実家（開業医）の手伝い  
 長女 真衣 明星小学校4年生  
 長男 健介 明星小学校3年生

2. 趣味

学生時代はラグビー、現在はMTB (マ

今後ともよろしくお願い致します。

XX

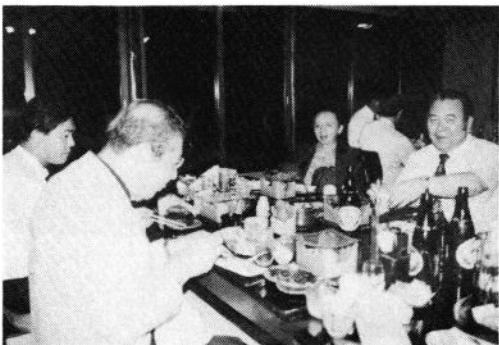
地区だより

秋川地区

「納涼会」

去る8月24日、五日市町の黒茶屋にて毎年恒例となっている秋川地区医師会納涼会が開催されました。米山地区長の挨拶に引き続き島崎秋川市福祉部長からも挨拶があり、参加した先生方もこのときだけは、日頃の診療から解放され楽しい時を過ごしました。

(瀬戸岡俊一郎)



秋川地区納涼会

五日市地区

「一泊旅行始末記」

五日市と日の出の医師会々員が「五日市医会」という名の下で毎月1回紀伊国屋(五日市)で飲み会をやるようになってから、もう20年以上経つが、一泊旅行は一度もしたことは無かった。そのせいか、一泊旅行をやろうという提案があった際には、即座に全員賛成で実施することに決った。

宿泊先は、上原謙と高峰三枝子の入浴シーンのポスターの撮影場所として有名な法師温泉・長寿館である。しかも、美人コンパニオンが2名同行するという誠に豪勢な計画である。さて、いよいよ当日6月13日(土)午後1時半過ぎに、貸切バスは紀伊国屋前を出発。

バスが動き出すやいなや直ちに宴会?が始まる。そしてそのまま夜の宴会へと続いたのである。

上原謙と高峰三枝子が入った同じ湯舟にドップリと浸ったわれわれは、全員美男美女に変身した気分になって、ご機嫌麗しく翌6月14



五日市医会記念撮影



日(日)夕刻無事帰宅した。

参加者は次のとおり。

杉本先生、栗原先生、桂木先生、明田川先生、湯川先生、福井谷先生、蓼沼先生、鈴木(民)先生、進藤先生、川崎。

コンパニオン2名(特に名を秘す)。

なお、今回の旅行に際して、明田川先生は会計を、湯川先生は世話係を担当して下さい、そのお陰ですべての事がスムーズに運んだことに感謝の意を表します。

(川崎健一郎)

### 青梅地区

#### 「鱒釣りバーベキュー大会」

8月9日、青梅医師会福祉部の主催により、御岳溪谷にて鱒釣り兼バーベキュー大会が行われました。前夜よりのあいにくの台風による雨まじりの天気となり開催が危ぶまれましたが、次第に焼けるような青空となり医師会のご同輩や共に働く従業員の紳士淑女の皆様、ご子息ご息女の皆々様合計34人の多くが参加し、盛大にかつ愉快地に水に親しみ魚に戯れ、真夏の一時を過ごしました。しかしながら、午前中の不安定な天候にて多くの方々が参加をためらわれたのは、誠にもって残念至極でありました。果実たわわに実るこの秋には更に豪気な集いを計画しておりますので、会員諸氏には是非参集お願い致します。

(青梅医師会福祉部)

### 羽村地区

#### 「納涼会」

羽村市医師会の納涼会がさる8月22日(土)、夕刻の涼風の中、五日市町黒茶屋にて開催された。松原会長はじめ塩澤、三枝、尾形、稲垣、横田、押切、山川及び筆者の会員の他、羽村市役所健康課長の北村氏を加え親睦を深めた。冷酒のうまさもあってか、10月の市民健康フェアや、保険審査の問題点など、当会の現在の問題や、今後の展開について熱のこもった意見交換もなされた。

(込田茂夫)



羽村地区納涼会

### 福生地区

#### 「快宴 西村邦康先生文部大臣賞受賞」

学校医制度創設95周年記念式典がさる6月26日日本医師会館1階講堂で行われ、西村邦康先生が鳩山邦夫文部大臣より表彰状を授与された事をご存知の通りですが、過日予防接種のあと『内輪だけでお祝いのお話があるらしいけれども来て呉れるかい』とお誘いがあり『喜んで伺いますよ』と答えておきました。そして7月26日祝賀の日(参議院選の日の夕刻六時より幸楽園)がやって来ました。その雰囲気は少しでもお伝えできればと一編集委員の苦作です。会員の先生方の眼に触れる事を期待しながら……。

その1) 上野重勝氏を筆頭に発起人6名、原島貞男氏ほか45名という町会主体で先生の慶びの会を企画実行したパワーにいづれにしても圧倒されました。日頃からの地域に密着した先生ご自身の開業医としての姿勢が映しだされたものと hearty なものを羨望もまじえてジーンときました。また司会進行役の浜中輝夫氏の名調子は出席者の心を弾ませる大変な才能と思います。

その2) ビック・ポストのスピーチでは、石川要三氏の西多摩という土壌で培われた先生とのパートナーとしての友情をもりこみ、田村市郎氏は本業をそっちのけに三期も西多摩医師会会長をと<sup>おぎ</sup>勞らい、松原新会長は先の都知事賞、厚生大臣賞も

と紹介しながら、今度ばかりは町会に先を越されたと言いながら新執行部を及ばずながら預かるの弁、校医担当校長野沢昭典氏の敬意に満ちた丁寧なオシャベリ夫々美味。

その3) ご本人の謝辞(西多摩学校保健連絡協議会の設立までの経緯その他を噛みしめるようにユックリ話されて)に続いて『親戚代表の……』との声にこれぞ本日の祝宴の巧妙な演出と脱帽しました。登場したのは何と紛れもない正真正銘の親族ご子息若き理ドクター『結構ウルサイ父ですが、……』出だしに爽やかな笑いを誘い(ご両親も苦笑い、想像するに世にいう厳父そのものだろう。辛口のご指

導もあったろう)父君邦康先生の好々爺然とした絶景は、大変な網膜の刺激となりました。

その4) 出席された学校の先生方や行政関係の方々、お名前を記載できればよいのですが、行き届きませんで失礼申し上げます。とりあえず会場では松原会長、山田正哉先生、大塚 渉先生、木野村幸彦先生、湯川文朗先生と事務局三人一行が私の眼にとまりました。見逃しがありませんでしたらご容赦下さい。私如き者でもご招待に預り、拙文の機会がありました事感謝します。先生の益々のご発展をそしてご指導も。

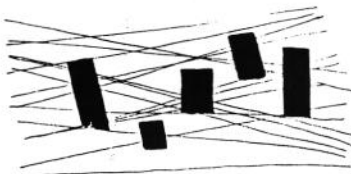
(みちまた まさたつ)



鏡 開 き



西村 理先生あいさつ



union 原稿募集 union

表紙の絵画・写真、御意見、文芸、随筆、諸事百般……投稿自由

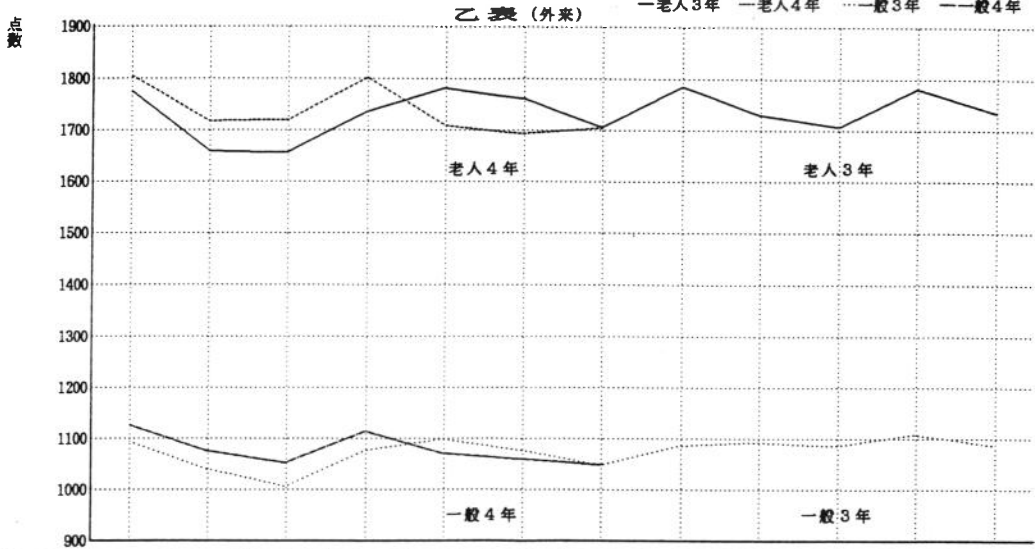
毎月15日 〆切

事務局又は広報委員まで

## 国保診療点数の概況について

平成3年、4年度の国保診療点数の平均は、下記のようになっておりますのでご参考までにお知らせいたします。

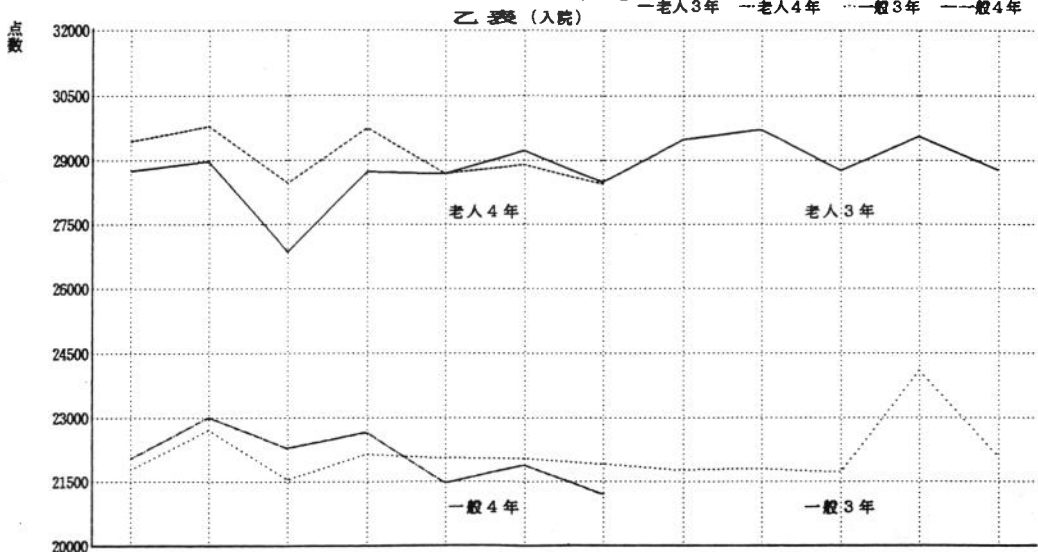
### 平均点数の推移



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
老人3年	1775.8	1658.6	1656.9	1736.4	1781.3	1761.8	1706.3	1785.4	1730.6	1707.9	1782.0	1735.2
老人4年	1805.8	1717.1	1719.3	1801.8	1709.5	1693.7	1704.4					
一般3年	1093.3	1040.1	1006.9	1077.3	1097.9	1076.6	1048.7	1086.6	1092.4	1086.1	1107.7	1087.7
一般4年	1125.5	1075.5	1053.1	1113.2	1071.2	1060.4	1049.8					

審査月

### 平均点数の推移

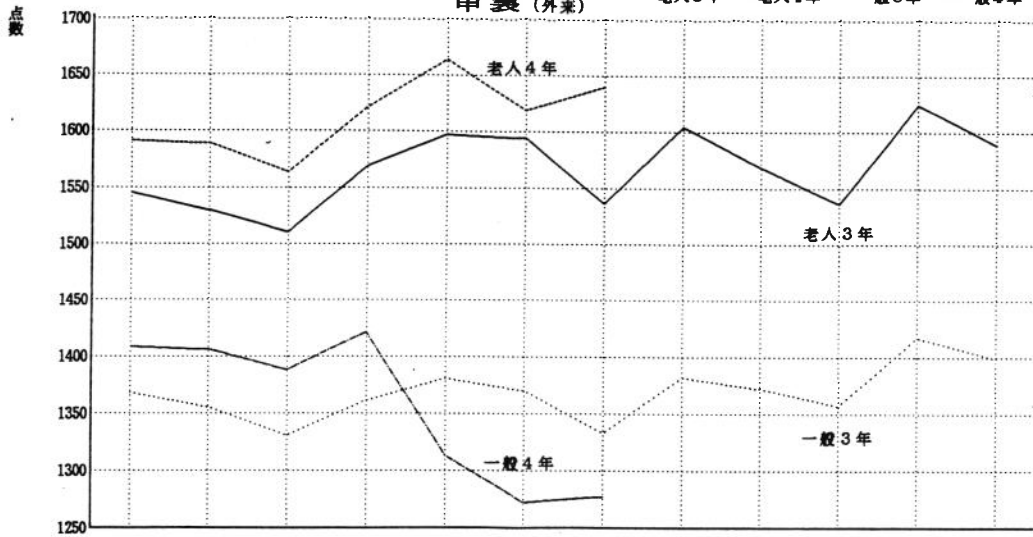


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
老人3年	28750.4	28963.2	26864.6	28737.1	28680.5	29221.6	28496.5	29474.9	29701.8	28763.0	29543.8	28780.3
老人4年	29430.3	29773.2	28467.8	29747.8	28692.4	28893.7	28455.1					
一般3年	21795.3	22702.4	21548.5	22145.1	22057.8	22045.4	21927.6	21773.4	21808.9	21731.6	24110.8	22073.2
一般4年	22049.6	23000.4	22296.8	22654.6	21462.0	21898.4	21212.2					

審査月

### 平均点数の推移

甲表 (外来)

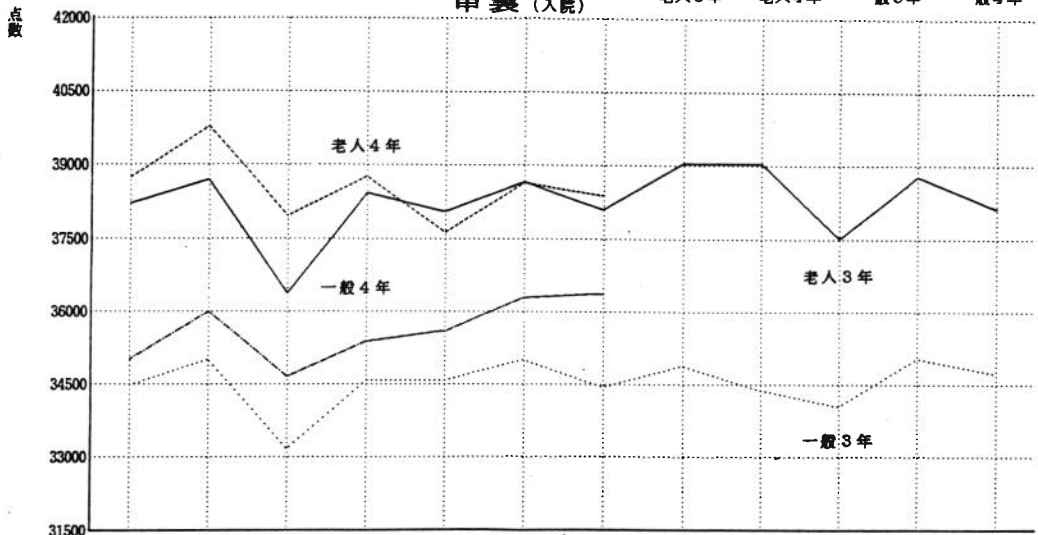


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
老人3年	1545.2	1530.1	1510.7	1569.2	1597.2	1594.1	1536.1	1604.8	1568.8	1536.5	1624.3	1588.9
老人4年	1590.9	1588.9	1563.8	1621.4	1664.5	1618.4	1639.9					
一般3年	1367.9	1355.4	1330.8	1360.8	1380.7	1370.0	1333.1	1381.9	1372.1	1357.0	1417.0	1399.0
一般4年	1408.4	1406.1	1388.7	1421.4	1313.4	1272.2	1277.1					

審査月

### 平均点数の推移

甲表 (入院)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
老人3年	38216.5	38693.2	36386.7	38428.5	38053.1	38661.8	38102.9	39042.6	39039.3	37516.0	38775.3	38126.8
老人4年	38740.2	39769.2	37973.6	38761.7	37628.6	38645.3	38396.0					
一般3年	34477.0	35005.0	33170.1	34577.9	34587.2	35002.5	34440.6	34885.2	34377.6	34056.0	35044.7	34731.8
一般4年	35022.0	35988.6	34655.6	35378.8	35593.6	36299.8	36374.6					

審査月

## お 知 ら せ

10月（9月診療分）の  
保険請求書類提出日

10月8日（木）

—— 正午迄です。 ——

## 法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を  
 毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽に  
 ご相談下さい。

- ◎ 相談日 9月は9日（水）  
10月は14日（水）の予定です。
  - ◎ 場 所 西多摩医師会館和室
  - ◎ 内 容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、  
刑事に関するどのようなものでも結構です。
  - ◎ 相談料 無 料（但し相談を超える場合は別途）
  - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- （注）先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 訃 報

原 重 正 様 71才

羽村市栄町2-6-29  
 森整形外科羽村分院  
 原 重幸先生（御尊父）

去る7月31日逝去されました。  
 謹んでお悔やみ申し上げます。

## 訃 報

平 岡 キ ミ 様 67才

青梅市青梅241  
 青梅医院  
 平岡克彦先生（奥様）

去る8月10日逝去されました。  
 謹んでお悔やみ申し上げます。

## 表紙のことは

## 『万華鏡』

先日、86才のおばあちゃんが、庭の花を数本折って持って来てくれました。花屋のものと違って生き生きとして素晴らしい花でした。早速、昼休みに写真を撮りました。ガラスのテーブルの上に置き、真上よりモダンな感覚を狙いました。西医写真展の時、坂本保巳先生より万華鏡の題名をいただきました。

稲垣壮太郎

## あとがき

編集委員会が新しいメンバー構成になって3回目の医師会報発刊となりました。明田川委員長を中心に色々と活発なディスカッションを重ね、新しい紙面を、と苦慮致しております。会員の皆様とにかく役立つ情報を提供できるか、その情報をいかに読んでもらえるか、そのためにはどのような紙面の構成が良いか、……と苦勞がたえません。色々な御意見、御感想、おしかりの言葉など何でも結構です。是非、お便り下さい。お待ち致しております。

(小机記)

社団法人 西多摩医師会

平成4年9月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 明田川修生

天野了一 石井好明 片平潤一 小机敏昭 込田茂夫

瀬戸岡俊一郎 高水松夫 玉木一弘 道又正達 山川淳二

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993



医薬品・試薬・医療機器の総合卸

東邦薬品株式会社

〒155 東京都世田谷区代沢5-2-1 TEL.03(419)7811(大代表)

自然のめぐみを最先端の技術で活かす——ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目



ツムラは、ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)128品目+3品目により、高齢化社会の深まりつつある現実の治療に貢献しつつ、漢方製剤の科学的な実証を通じて、21世紀に至る長寿社会の治療手段としての役割をはたしていきたいと願っております。

 株式会社 **ツムラ**  
東京都千代田区二番町12-7 千102

最新のテクノロジーが計測します  
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア  
**保健科学研究所**

本社 千240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1661(大代表)  
仙台支社 千983 仙台市宮城野区扇町1-3-5 TEL/022-236-9345(大代表)



# 健康の輝きをひろげる。



株式会社 **ビー・エム・エル**

BML

本社・〒166 東京都杉並区高円寺南1-34-5 TEL.03-3316-0111(大代表)  
 総合研究所・〒350 埼玉県川越市の場1361-1 TEL.0492-32-0111(代)



**R** RETAIL BANK  
 人と人のネットワーク

協和埼玉銀行

- |              |                             |                   |
|--------------|-----------------------------|-------------------|
| 東青梅支店        | TEL.0428-22-2121(代) 〒198    | 青梅市東青梅2-17-4      |
| 奥多摩<br>特別出張所 | TEL.0428-83-2515(代) 〒198-02 | 西多摩郡奥多摩町永川1421    |
| 青梅支店         | TEL.0428-22-1101(代) 〒198    | 青梅市青梅295          |
| 河辺支店         | TEL.0428-24-2401(代) 〒198    | 青梅市河辺町10-2-9      |
| 福生支店         | TEL.0425-51-1021(代) 〒197    | 福生市福生1048         |
| 村山支店         | TEL.0425-61-1211(代) 〒190-12 | 武蔵村山市中藤4234       |
| 秋川支店         | TEL.0425-58-2611(代) 〒197    | 秋川市下代継111-5       |
| 羽村支店         | TEL.0425-79-0881(代) 〒190-11 | 西多摩郡羽村町五ノ神4-13-10 |
| 五日市支店        | TEL.0425-96-1311(代) 〒190-01 | 西多摩郡五日市町五日市840-1  |